

不明男性遺体で発見

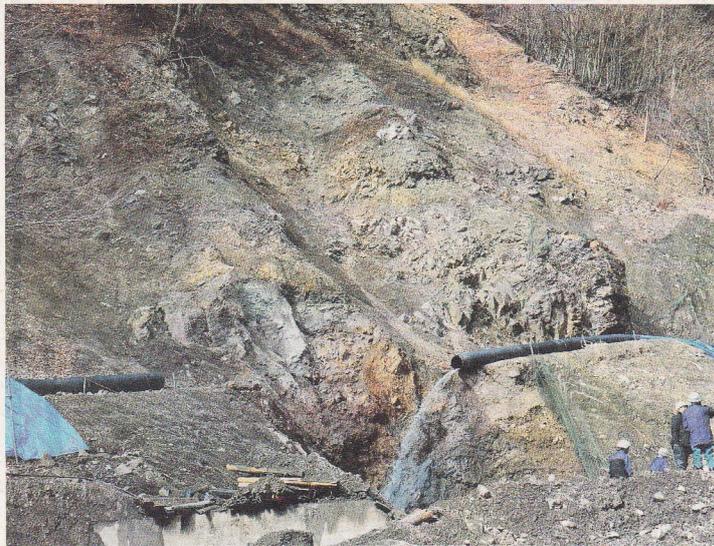
伊那署、土砂崩れ現場調査

伊那市長谷黒河内の国有林の治山工事現場で26日夕に土砂が崩れ、同市長谷中尾の会社役員新井良太さん(54)が行方不明になった事故で、伊那署などは同日夜、岩の下敷きになった新井さんを見つけ、死亡を確認した。同署は27日、伊那労基署や工事関係者らと現場を確認。当時の作業状況などを調べている。

現場では沢の水をパイプに引き、沢にえん堤を築く谷止め工と山腹工を施工。南信森林管理署(伊那市)が発注し、同市長谷の土木工事会社「水野組」が請け負った。工期は7月23日～来年3月25日。新井さんは同社専務で、工事の現場代理人だった。

伊那署によると、新井さんが型枠工事の状況写真を撮っていた際、上方から岩や土砂が幅約10～15㍍、長さ約20㍍にわたり崩れ落ちた。他に2人が作業していたが、離れた場所について無事だった。

現場関係者によると、新井さんは、沢床を5㍍ほど掘った、えん堤の基礎となる部分にいたとみられる。水を引くパイプはこの部分で破損し、



土砂が崩れた現場。新井さんは切断されたパイプの下の辺りにいたとみられる＝27日午前11時12分ごろ、伊那市長谷黒河内

幅3㍍以上の大きな岩も落ちていたという。長野地方気象台の観測では、長谷の隣、高遠の降水量は16～24日はゼロで、25日には18㍉を記録している。